

行／事／予／定

1~3月

- 1月13日(月) どんど焼き【朝田神社】
- 3月 7日(土) 鴻南中学校卒業式【鴻南中学校】
- 3月19日(木) 大歳小学校卒業式【大歳小学校】
- 3月26日(木) 大歳小・鴻南中修了式【大歳小・鴻南中】



おとしあわせ版 Information

山口市表彰を大歳地区の3名が受賞

各分野での長年にわたる活動が評価され、社会事業功労者として民生委員の石津恵美子さん、保健衛生事業功労者として食生活改善推進員の乗安まさ子さん、林光代さんが山口市表彰を受賞されました。11月19日の表彰式には石津さん、乗安さんが出席され、山口市長より表彰状が手渡されました。みなさん、おめでとうございます。



乗安まさ子さん 石津恵美子さん 表彰式の様子

総合支援学校生徒さんが大歳駅ベンチを作成

スポンサーが撤退しベンチの無かつた大歳駅に、山口総合支援学校の生徒さんがベンチを作成してくれました。レノファ山口の応援駅ということで、オレンジに塗られたベンチは高さもちょうど良く、木製で温かみのある仕上がりになっています。生徒のみなさん、ありがとうございます。



かわら版モニター 交流カフェ 参加者募集!

かわら版にあなたのご意見を!

広報誌『まちづくりかわら版おとし』と一緒にリニューアルしませんか。お茶をしながら楽しくご意見をお聞かせください。2月8日(土)14時から、大歳地域交流センターで交流カフェを開催します。ご参加いただける方は大歳自治振興会(920-1700)まで。



昨年の会議の様子

編集後記

この「かわら版おとし」の発行は令和2年1月号で61回目になります。大歳地域の情報を集めて、10年経過したことになります。この1年、よい情報を発信できる年であってほしい。(白上)

1~3月

まちづくりかわら版

おとし

2020.1
Vol.61

目指します

“安全で 明るく 住みよい大歳を”

あけましておめでとうございます
本年も皆様と共に地域の夢を実現すべく
大歳地域づくりに取り組んでまいります
どうぞよろしくお願ひいたします

大歳自治振興会
会長 吉富 滋浩

子年になんでも
干支の新しいサイクルがスタートする2020年。
東京オリンピックも楽しみですね。がんばれ日本!!
ると考えられています。皆様にとっても良いスタート
の一年になりますよう。



地域でイキイキと活躍している人達をご紹介するコーナー！ 長年にわたって、山口の文学界を支えて



堂迫 充さん (下湯田) 事務局長の忙しさは、逆に創作意欲をかきたてるのでしょうか。堂迫さんは、1995年に「新しい風を」で第43回地上文学賞(家の光協会主催)を、1998年には「遠き今」で第41回農民文学賞(日本農民文学会主催)を受賞するなど、全国的評価を受ける作品を執筆しています。

2003年には、苦難に満ちた女性の半生を描いた長編「蒼き空に」を刊行、2007年には、山口が生んだ私小説家・嘉村儀多の苦難の短い生涯を描いた「遙かなる雲」を刊行するなど、年をとるほど創作意欲が強くなっているかのようです。堂迫さん、これからも山口で市井に生きる人々を描き続けて下さい。

自治会レポート

河内自治会編

各自治会にスポットをあて、地域の様子や日々の悩み等を自治会長さんに伺います。

令和2年の最初は河内自治会の豊嶋國夫さんです。河内の自治会長の任期は1年です。河内は大歳地域の最西端で、西は山を挟んで小郡に接し、北は阿仙原、東は馬庭、南は朝田地区になります。水がきれいで、夏は蛍が飛び交い、おいしいお米が獲れるところです。自治会員は9世帯で住民は20人という大歳最小の自治会です。75歳以上が12人の後期高齢者が大半の自治会ですが、高校生以下も3人います。自治会長が分館長と協力しあって諸行事をこなしています。年一回の総会をはじめ馬庭と一緒に年2回の草刈りや体育祭への参加など家族総出で参加し、交流を深めています。1自治会1事業として昨年は「認知症について」の学習会を開きました。会長さんは「困ったことは山に囲まれた地区ですので、農作物がサルやイノシシの被害を受けたり、電波が繋がりにくいくことなどですが、一番の問題は、地区の後継者です。」と言われます。



「認知症サポーター」講習会

河内自治会長
豊嶋 國夫さん

大歳の公園データ⑤

大歳の隠れた&癒しのスポット！

富田原公園

湯田保育所の近く、山口コア学園の西となりにある公園です。道路から見えにくい場所にある穴場スポット的な公園で、山口コアカレッジ入口横をななめに入っていた先にあります。トイレの赤い三角屋根が目印。



富田原公園 DATA

住所 山口市富田原町
広さ 約2,000m²
設備等 すべり台 ベンチ 鉄棒 ブランコ
駐車場 なし
トイレ あり

地域でイキイキと活躍している人達をご紹介するコーナー！

長年にわたって、山口の文学界を支えて

「文芸山口」を知っていますか。県内の文芸愛好者の集まりである山口県文芸懇話会が発行している同人誌で、1958(昭和33)年に創刊以来、隔月で発行し続けて60年を迎え、348号を数えるに至りました。

堂迫さんは第2号が発行された頃、文芸懇話会に参加したと言いますから、ほぼ懇話会発足時から、この取り組みに加わり、事務局長として、この文芸山口の編集・発行の責任を担ってきた時代もありました。会員が投稿した原稿を文芸山口に掲載して、発行後、それを元に合評会を開いて、感想・意見を述べ合い、相互研鑽をはかるというサイクルでの運営が継続力の源泉でしょう。現在の会員は約40名、中原中也記念館名誉館長・福田百合子さんなどが名を連ねています。



交流センターの図書室



交流センターの図書室

新コーナー 大歳の気になるお店 Vol.3



宮崎 敏也さん

食事処 宮崎

今回は、「食事処 宮崎」におじゃました。ナフコ向かいの大隅オートサービスから細い道に入った住宅地の一角にある小さなお店です。店主の宮崎さんは、大阪の上方料理店「毛川（きかわ）」で13年修行され、その後山口で独立されました。メニューは昼夜共に定食が主で、その種類は多く、しかも小鉢やみそ汁も全て基本にのっとり、出汁から手作りで700円から800円という良心的な値段です。

宮崎さんは、「赤ちゃんからお年寄りまで安心して食べられる食材を使い、地域の人に安くて美味しいものを食べて頂きたい」と謙虚な姿勢で話されました。昼食時には、狭い室内がお客様でいっぱいになり、仕方なくお断りすることもあるとか。時間に余裕のある方は、開店直後の11時からか、13時以降がお勧めです。

匠の技 焚物



人気の屋定食



下の地図にあります

発見！おおとし

大歳西コース・中編-2

光沢即明和尚がこの地に、小鯱の禪昌寺の末寺巨福庵を再興し、宝暦7(1757)年、村民のため大乗妙經を一字一石に書き写して埋納し、上に石造五重塔(大乗妙典宝塔)を建立したと云われます。今も子安觀音として崇敬され、側に、即妙和尚の墓があります。この子安觀音のお祭りは8月に行われ、以前は傍の狭い空き地で盆踊りをしていたといわれます。拝んだあと、来た道を少し引き返し、国道9号に出て小郡方面に行きます。そして、宗教団体の施設を過ぎた所を山側に曲がると直ぐに朝田公会堂(A2)があります。ここには、大内時代の光明山善光寺にあったとされる像3体が祀られています。大内25代当主義弘像と2体は脇立の地蔵菩薩と伝承されています。この後、旧朝田(五宮)神社(B4)を目指します。

(註1)石州街道ができる以前からあったとされる古代からの道。

ここに子安觀音と光沢即明の墓(A6)があります。

A6

A2

B5

A7

A8

B5

A24

A6

A2

B3

A7

A8